

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	企業立地促進事業				基本目標	企業立地の促進				
担当課(局)・係	政策推進課	総合政策係	記入者	日高茂利		事業開始年度	H18	年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)						
	町民			雇用機会を確保し維持する						
事業の内容	新産業の創出や雇用機会の確保による地域経済の活性化を目的として町内への企業立地をすすめる。立地に関する相談や候補地等の情報提供対応を行うほか、企業誘致コーディネーターによる首都圏での定期的な企業訪問やPR活動を行う。また、県外地域での町人会組織の設立をすすめる、企業動向等の情報収集を行う。新規立地企業及び事業拡充を計画する企業に関しては、条例に基づく奨励措置について審議会を開催し、指定事務や優遇措置に係る手続きを行う。									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	2,721千円		1,473千円		1,178千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円	
		歳出	報償費、旅費、食糧費等					地方債	千円	
							その他	千円		
							一般財源	1,178千円		
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	近畿高鍋会運営助成金				
	補助対象	近畿高鍋会			補助金要綱	近畿高鍋会運営助成金交付要綱				
	前年度決算	補助額	100千円		補助の形態	運営費補助	H26年度補助額	100千円	終期	26
		交付団体の決算額	102千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
決算額に占める割合	98%		事業拡充:コスト維持(H25) ※H23は町人会設立準備委員会補助金 ◎担当課の方針どおり。(H25) ◎近畿高鍋会運営助成金は平成26年度で終了予定。他の高鍋会育成にも力を入れて欲しい。(H25)							
繰越額	0千円									

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
企業の新增設			雇用機会の確保			情報収集及び支援体制の整備		
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
奨励措置指定件数	1	件	指定企業新規雇用者数	10	人	町人会設立数	1	団体
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
事業所訪問数	件	相談対応件数	件					

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項		
			実績値	24年度	25年度		目標値	
成果指標	奨励措置指定件数	件	実績値	0	2	目標値	1	新設指定工場:県外企業(1社)、町内起業(1社)
			達成率	0.0%	200.0%	達成率		
	指定企業新規雇用者数	人	実績値	0	10	目標値	10	
			達成率	0.0%	100.0%	達成率	100.0%	
町人会設立数	団体	実績値	0	0	目標値	1	23年度に「近畿高鍋会」が設立	
		達成率	0.0%	0.0%	達成率	100.0%		
活動指標	事業所訪問数	件	実績値	82	79	目標値	120	企業誘致コーディネーターによる訪問活動及び町長等によるフォローアップ訪問を実施
			目標値	120	120			
	相談対応件数	件	実績値	2	2	目標値	10	
			目標値	10	10			
			実績値			目標値		
			目標値					

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	4	地域経済の活性化や雇用の確保を目的とした企業誘致活動は町が主体的に取り組むべき事業であり、目的の達成には積極的な情報収集と地道な企業訪問活動が必要となる。これらについて、企業誘致コーディネーターの配置や県外での町人会設立は一定の効果があるものと判断している。また、企業の新規誘致のためには時間や費用も要する点もあるが、将来的な雇用の確保等の観点からすれば効果も裏付けられる。 町人会は、遠隔地から町の発展に寄与することを目的としており、県外在住者と高鍋町政をつなぐ組織として公益性が認められる。	今後の方向性
	有効性	5	公益性	5		拡充

事務事業評価委員会評価欄		外部評価委員会評価判定欄
拡充		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	スポーツ合宿等誘致事業				基本目標	スポーツ交流の推進			
担当課(局)・係	政策推進課	総合政策係	記入者	日高茂利	事業開始年度	H18	年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どのような状態にしたいのか)				
	町の経済				スポーツを通して活性化する				
事業の内容	社会人や大学などのスポーツ団体に対して合宿や大会等の誘致活動を行い、町社会体育施設の有効利用と宿泊施設をはじめとする町内産業の活性化を図る。また、学生スポーツ合宿団体に対し滞在経費の一部を助成することで誘致活動を促進し、交流人口の拡大を図る。								
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳	
	金額	306千円		1,998千円		877千円		国庫支出金 千円	
	主な予算科目	歳入					地方債 千円		
		歳出	旅費、補助金				その他 千円		
								一般財源 877千円	
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	スポーツ合宿補助金			
	補助対象	スポーツ合宿団体			補助金要綱	高鍋町スポーツ合宿補助金交付要綱			
	前年度決算	補助額	1,257千円		補助の形態	臨時的補助	H26年度補助額	300千円	終期
		交付団体の決算額	26,645千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
	決算額に占める割合	5%		事業拡充:コスト拡充(H26) ◎練習場も確保できたので、有効誘致を図っていただきたい。(H23) ◎グラウンドを利用した誘致には限りがあるので、総合体育館も利用したキャンプ誘致を進めていただきたい。(H23) ◎スポーツキャンプによる町内の経済に与える波及効果は大きいので、今後も宿泊キャンプの誘致を積極的に展開してもらいたい。(H23)					
繰越額	31千円								

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
合宿、大会等の誘致			交流人口の拡大					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
合宿団体数	5	団体	合宿述べ参加数	2000	人			
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
新規誘致及びフォローアップ訪問回数	回	合宿相談対応数	件					

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項	
			24年度	25年度	26年度		
成果指標	合宿団体数	団体	実績値	2	6	目標値 5	
			達成率	40.0%	120.0%	達成率 100.0%	
	合宿述べ参加数	人	実績値	878	2479	目標値 2000	
			達成率	43.9%	124.0%	達成率 100.0%	
活動指標	新規誘致及びフォローアップ訪問回数	回	実績値	3	1	目標値 2	
			目標値	3	3		
	合宿相談対応数	件	実績値	5	8	目標値 10	
			目標値	10	10		
				実績値			目標値
				目標値			

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	4	宿泊施設への誘客促進や町内での購買・消費につながるものである。誘致にあたっては民間事業者と連携してセールスを行うと同時に、多くの自治体が競合する中で合宿団体に対して町が積極的な立場を示すことは誘致活動に重要である。有効性については、外部交流による活気の増大など数値化による評価が難しい部分もあるが、基本目標の達成につながるものと判断する。合宿の受入団体が増加することで補助金支出も増大する傾向にあるが、その殆どが団体の滞在期間中の経費に充てられており結果的に地域へ還元され公益性も認められる。	今後の方向性
	有効性	4	公益性	5		拡充

事務事業評価委員会評価欄		外部評価委員会評価判定欄
拡充		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	地方バス路線維持事業				基本目標	公共交通機関の利便性の向上			
担当課(局)・係	政策推進課	総合政策係	記入者	河野 真史		事業開始年度	H8	年度	
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どのような状態にしたいのか)				
	交通弱者				移動手段が確保される				
事業の内容	①高鍋町から西都市までの3路線4系統を宮崎交通(株)に運行委託する。 ②「中尾⇒西小前」の1路線を通学時間のみ運行。町補助金として、宮崎交通(株)に欠損額と回送料を支出している。								
予算・決算額	年度	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度予算財源の内訳				
	金額	17,609千円	17,767千円	0千円	国庫支出金		千円		
	主な予算科目	歳入	地域交通機関運行維持対策補助金			県負担金	補正予算計上	千円	
		歳出	地方バス路線維持費補助金			その他		千円	
補助事業	事業の区分	国県補助			補助事業名	地方バス路線維持費補助金			
	補助対象	宮崎交通(株)			補助金要綱				
	前年度決算	補助額	17,767千円	補助の形態	国県補助	H26年度補助額	0千円	終期	26
	決算額に占める割合	100%			前年度までの見しめの状況・評価委員会での決定事項等				
繰越額	0千円			<small>事業維持コスト維持(H23) ※外部 事業維持コスト維持(H23) ◎3市町の協議が不可欠であり、政治的関与があるため、路線の廃止は難しいと思われる。バスの小型化等を依頼し、コストの削減に努めてもらいたい。また巡回バスと併せて、総合的な交通施策を検討すべきである。(H23) ◎バスの小型化など改善されたところもあるが、町内巡回バスで代替できるまでは交通弱者対策として取り組まざるを得ない。(H23)</small>					

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
交通弱者の移動手段の確保			交流人口の拡大					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
乗車人員(平均乗車密度)	2.22	人						
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
補助金	千円							

◎目標達成状況

	指標名	単位	年度			これまでの活動状況・特記事項	
			24年度	25年度	26年度		
成果指標	乗車人員(平均乗車密度)	人	実績値	2.22	2.16	目標値	2.22
			達成率	100.0%	97.3%	達成率	100.0%
			実績値			目標値	
			達成率			達成率	
活動指標	補助金	千円	実績値	17609	17767	目標値	16300
			目標値	16300	16300		
			実績値			目標値	
			目標値			目標値	

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	4	高齢者や学生・生徒といった交通弱者の移動手段の確保のために必要な事業であり、廃止した場合、利用者への影響は大きく、再開することも困難である。路線の必要性については、他市町にもまたがる路線であるため、宮崎交通(株)、県及び関係市町と廃止・町内巡回バスへの移行を含めた検討を常時行っており、現在のところ現状維持が望ましいという検討結果に至っている。利用者の増加がなかなか見込めず、欠損額の減額は難しい状況ではあるが、廃止した場合の利用者への影響の大きさを考えると、費やしたコスト相当の効果は認められる。	今後の方向性
	有効性	5	公益性	5		維持

事務事業評価委員会評価欄	・事業の目的から、現段階では維持。 ・地域交通としての役割として大きい。 ・高鍋だけでなく、維持以外の方向性は考えられない。 ・三納代線については、廃止も含めた検討が必要ではないか？ ・利用者を増加させるための方策については、予算を増額しても良いのではないかと考える。	外部評価委員会評価判定欄
維持		